



指導主事だより

なんだか うれしい

教育委員会

相談時間等

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話0267-56-3131 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話0267-56-1076 (呼)
- 立科町児童館/
午前11時50分～午後1時40分
電話0267-56-0248 (呼)

[担当 指導主事 中島一彦]

正座

長野市で行われた研修会でのことでした。
偶然居合わせた校長先生から、こんな話を聞きました。

今は、六年生の担任をしている二校目の青年
教師T先生。



1年 小林はるさん「どこにもないような むら」

掃除の時間に、教室掃除をしている男子数人が少しふざけてしまい、ほうきで遊びはじめたとのこと。
偶然通りかかった学年主任のベテランA先生（女性）に厳しく叱責されたということです。

○最高学年として何をしているのか

○学校の決まりをきちんと守ること・・・等々。

教室の隣に併設されている学年室から聞こえてくるA先生の震えるような怒りの声。

急いで学年室に飛び込んだ担任のT先生。

目に飛び込んできたのは、下を向いて、A先生の説諭にうなだれながら正座している子どもたち。

怒りがおさまらない様子でじっと子どもたちを見つめているA先生。

担任のT先生は、何をどうしたらいいのか分からずに、静かに子どもたちの後方に同じ姿勢で正座し、
うなだれてA先生の説諭を聞き続けていた・・・。



1年 佐藤なぎささん「くるまがいっぱい」

こんな内容でした。

子どもたちはやるべきことを、きちんとやることを教えなければならない・・・という議論が出るたびに、このT先生の姿を思い出すのです。掃除中に遊んでしまったことに対する叱責よりも、担任の先生と一緒に正座してうなだれている姿こそ、はるかに深く子どもたちを揺さぶり続けていくのだと思うのです。